

## 活動報告

朝霞市立朝霞第一小学校教諭  
平成 16 年度 1 次隊（フィジー）  
小林あゆみ

皆さん、こんにちは。今ご紹介にありました朝霞第一小学校から来ました小林あゆみと申します。平成 16 年度 1 次隊でフィジーの小学校の方へ派遣されていまして。私も先ほどの先生と同じで帰ってきてちょうど 1 年を迎えたところです。あの先ほど後ろの方でちょっと見させていただいたら皆さんの背中がとっても疲れて見えたのは気のせいでしょうか。ていうか疲れますよね、聞くのって。ずっと私たちってしゃべるのが仕事なので聞く方になるととっても疲れるということが改めて子どもの気持ちになったような、これからそんな 3 ヶ月が続くと思いますので。教材研究とかしなくていい分、お気軽に聞けるといえば聞けるのですが、うまく聞き流す方法なんかもしかしたら身につけちゃうのかなと思います。私の話はざっくばらんに聞いていただければと思います。

今日 4 月 2 日、本年度の初日ということでこの場に居合わせたことを私とってもうれしく思うのと同時にすごくうらやましく思っています。皆さんにとって今日というのは 2 年間の始まるほんとは 1 日目なので今日は最高の日じゃないかなって逆に言うと 2 年後の今日はどちらかというと最悪の日かもしれません。

じゃあ始めさせていただきます。私は先ほどいいましたようにフィジーという南太平洋の国に行ってきました。活動場所が **John Wesley Primary School** という小学校です。ただ小学校といえども 8 年生まででありましたので実質日本の小学生から中学生までですね。中 2 までの子たちを相手にしていました。私の要請内容は情操教育だったので広い意味で教育界では割と理数系の先生がこの中にも多いと思うんです。私はマイナーな方の情操教育なんですけれども主に図工と体育を行っていました。で大きく分けると私の活動はほぼ学校の中で行う活動だったんですけれども、学校の活動と学校外の活動と分けて話していこうと思います。

まず体育です。体育の方は主に体を使っていろいろ運動をするんですけれども一番右側の写真、これブリッジをしている写真なんです、まあもの見事にみんなきれいにブリッジができます。でその反面、これは背筋が強いからできるんですけど、腹筋がものすごく弱くて先ほどの先生のお話の中に逆さまの写真があったんですけど、あの話を聞いてああこれだったんだと、私は帰ってきてから気づかされたんですけども本当にこちらが思ってもいないことが次から次へと起こります。ラグビーとか好きな人はご存じかもしれませんが本当にラグビーが強い国で運動神経にはたけているイメージがあります。走るのも大好きでリレーなんかやるととても楽しく満面の笑みで校庭を走り回っています。でももう全然走るのを止めないのでリレーは勝負になりませんでした。これがもしかして

逆さまの写真かなと思っています。あととにかく物が少ないので一番左側の写真にあるような馬跳び、つまり体だけでできることがとっても有効だったなと思います。もしこれ体育の先生がいらっしゃったら、もちろんちょっとしたボールとか縄跳びとか外国の任地にもよると思いますが、ほんとに体だけでできる運動を一杯仕入れると役に立つかもしれません。これ先ほど話した体力テストの結果なんですけれど一番上にあるのが柔軟性でとても低いです。そのかわり走るのとジャンプ力は、たぶんこれはデータがいい加減なんでものすごく日本人より長けていると思います。

それから図工の方です。ええ図工の方も、私実は図工が専門で図工の教科書会社さんからたくさん資料をいただいてこっそり持って行ったんですね。ところが、全然役に立ちませんでした。あのう何が役に立たないかって日本の図工教育って本当に豊富な物を使っているんだなって向こうに行って改めて感じて本当に使える教材、すごい数の本を持って行ったにもかかわらず使える教材がほとんどありませんでした。私たち心がけたのは現地のもので現地の人たちができるようなもの、そんなものをやりたいなというのがまずありました。伝統工芸なんかで使う、何ていうのかな草みたいな物を、そういう物を使うこともできるし、あとは紙なんかは本当に貴重品なので、ほんと何回か使うぐらいですね。むしろステンドグラスみたいに紙皿とかそういう物を利用した方が安くついたりすることになります。あと新聞紙、ペットボトル、そういう物を使うことが多いですね。ペットボトル人形というの、中央に写っていますけれど、あれはペットボトルとあとトイレットペーパーの芯と古いお姉さんから貰った端切れですね。そういった物で作っていて、粘土とかも日本では当たり前のように手に入るんですけど、手に入らなかったんで、小麦粉けっこう頻繁に安く手に入ったんで小麦粉を練って粘土にしました。でハサミなんかでも日本のように全員が道具箱に持てるわけじゃないので私が 30 セット 40 セット持って行って配ってそこで使って回収するという形です。それから日本だと幼稚園でかなりの子がハサミを使ったりノリを使ったりってやってきているので、ところがここ幼稚園教育もままならない国ですからほとんどの途上国そうだと思うんですけど、いきなりハサミ持っても何に使うものか分からなかったりノリで貼ってっていてもノリを手取ることもできないとか、そういう状態から始まって、ああこれも逆さまの写真現象だなと後から考えました。あのうただよく聞かれる質問が言葉はどうしてたんですかという質問なんですね。で、フィジーは一応公用語は英語です。なぜかというとなんか半分がフィジー人、半分が労働者として以前連れてこられたインド人がいまして、それぞれフィジー語とヒンズー語という言語、二つの言語が混ざっています。彼らが共通してしゃべる言葉として英語が共通語になっているんですが、私が行った学校はほぼ 100%じゃないけどフィジー人だったので、ちっちゃい子 1 年生なんかはフィジー語しか分からない状態でした。でやっぱり、すごいよかったのは公務文書があまり回ってこないんですね。やっぱり外国人扱いなので何ができるかという私の仕事は本当に授業だろう、図工と体育の授業がちゃんとできるかに。だから教材研究する時間が結構あるんです。これ日本じゃほとんどないでしょうねなんて、こん

なことぶっちゃけて言っちゃっていいのかわかんないけど。あのう本当に教材研究ができてすごく幸せでスモールセットで4つぐらい作っていくと、最初はこれって見せることができたので、割とそういう感じで小さい子、上の子もそうですけど、対応してました。それからあと、子どもたちってどういうところで、こうなんて言うのかな、どういうところでこう興味を持って、どういうところで飽きるのかっていうところが、ま本当一緒だなって日本の子も外国の子も変わらないなって感じたところがあります。で、めっちゃかめっちゃかハイテンションになっちゃったときに、鎮めなきゃいけない状況が学校の中で出てくると思うんですけど、フィジー語で言っても英語で言ってももうどうしようもならないときってあります。もちろん日本で日本語で静かにしなさいって言っても聞かないときありますよね。そういう時どうしたかという、あのもう言っても無駄だと思ったので黒板にチョークで **Stop talking** と書くとそれを見て、“ああ”と言って静かになっちゃったりとか、あとはそうですね、何ていうの簡単に手でできるような遊びを突然やり始めるとみんなが真似してくるんですね、そしてあの口を使わなくてもその場が静かになるっていうそういう技も、“ああなるほどな”っていうか、行って逆に教えられたことっていう感じがすごくしました。ちなみにちょっと簡単にやってみましょうか、右手でグーチョキ、グーチョキでできますよね、左手はチョキグーパー、チョキグーパー、これを同時にできますか？はい、右手はグーチョキ、グーチョキ、左手はチョキグーパー、チョキグーパー。はい、これを一緒にやりましょう。こっちはグー、こっちはチョキです。せーの、…こんなことがちょっとできると子どもたちもすぐ乗ってくると思います。まあいろんな皆さんの方がいろいろ知っていることも多いかと思うんですけど。

その他の活動として、校内に日本文化を紹介したりだとか、あとラジオ体操をやってみたりだとか、あたしは駒ヶ根だったんですけど訓練所でやるラジオ体操を英語版で分けてもらうことができました。それから日本語の挨拶を逆に教えてみたりだとか、あと日本との交流で版画なんかを作品を送ってもらって貼っていたら、やっぱり版画なんかとても高嶺の花でできるようなもんじゃないのでとっても子どもたちは興味津々で見てくださいました。それからコンクールなんかがあると作った物を送って参加したりしていました。大体ここまでの私の学校内での主な仕事です。ええその下に赤字で書いてあるのが学校外での仕事。私たちの仕事は実は子どもたちに図工や体育を教えることじゃなくて、先生たちが図工や体育の授業をできるようになることなんですね。で、私の力不足もあって学校内では私が体育や図工を教えてくれるから先生たちはその時間、いわゆる空き時間のようにとらえちゃってて本当はもう一緒にやろう一緒にやろうって積極的に呼んで一緒に図工をやり体育をやるのが本来の私の仕事だったのかもしれないけれど、まあそこまですべて自分の力が足りなく、でもあの子どもたちが“ああ図工って楽しいな”、“体育って楽しいな”ってもし何人かが先生になって“そうだ図工をやろう”“そうだ体育の授業もやろう”てことに気がついてくれたらって、子どもたちには一生懸命図工と体育を伝えてきました。ただ先生たちには何もしないわけにはいかないの私たち、私がいた当時小学校教諭3人がフ

イジーに派遣されていました。全員ちょっと任地は違ったんですけど 3 人でワークショップを行いました。まずいろんな地域の学校を回ってそれぞれの学校における情操教育の現場を視察してきました。その結果、何が分かったかっていうとやっぱりほとんどどの学校でも地域に関係なく図工や体育の授業がほとんどされていませんでした。で、する先生はするんです。もう本当に個人的に体育の得意な先生は体育をするが図工はしないとか。図工についてはもっとひどくて材料もないアイデアもないそれから時間がないってことで、やんなきゃなんないのは分かっているけどできないだということはかなり強く言われました。でどうしたもんかと材料とか時間に関しては私たちちょっとどうすることもできないんですけど、せめてアイデアならあげられると思ったんですね。で現地の物を使ってもう簡単な物でいいからじゃあアイデアを提供しようと言うことでまたいろいろ学校を回って実際に授業を展開したりだとか、あとは教員養成学校の方へ行ってこれから先生になる卵の人たちに体育や図工の紹介をしてきました。それともう一つ、私たち小学校隊員の他にフィジーが養護学校に力を入れていることもあって、養護の先生たちってけっこう図工の分野が多いんですね、で私たち隊員同士でもやっぱりネタに困るんですね、今どんなことやってんのって聞きながら、そのうちじゃあみんなの持ってるアイデアをちょっとまとめて資料として残そうという話になりました。でたまたま養護のシニアの方がいらっしやいましてその方が全く同じことを考えていたので話していくうちにじゃあ一緒にやりましょうということで、小学校隊員、養護隊員、それから養護のシニアの方が一緒にアイデア集というものを作りました。これその中の 1 ページなんですけど、みんなができるようにワードで写真入りで要る物とステップ 123、まあ物によって違いますけれどもこういう形でみんながそれぞれ自分のアイデアを持ち寄って本にすることができました。で、おかげさまでこの本がフィジーの教育省の方に認められて全部の学校に配布してくれるというようなお話をいただいて本当によかったなと思っているんですけど。この時に私ちょっと思ったのはたまたま自分は首都の隊員だったので地方の隊員との連絡役みたいなことをやってたんですけど、こうした大がかりなことになるとどうしても行政、フィジーの教育省との連携がすごい大事になってくると思うんですね。もしフィジーの教育でそういう専門家の方とか、教育省に派遣されている方がいればその方が本当に中心になって私たち地方隊員やいろんな教育現場の隊員をつかさどってやってくれるといいなあなんて思うこともありました。私たちの時は調整員の方がパイプ役を教育省と本当に綿密にやってくださってすごい助かってお陰でこういう大きなプロジェクトもできたのかなと思います。

あともう 1 つ、子どもの作品展の開催というのがあるんですけど、実はこれは私がいるときには計画段階でまあ残念ながら私は任期を終了して日本に帰ってきたんですけど、残っている隊員たちが去年の 10 月に作品展をやりまして報告をしてくれたんですね、すごくそれやっぱりうれしくて。フィジーの方もやんなくちゃと思うし、いいなと思うんだ毛で実際にこう作品を見るとまた“あっなんだこんなことでいいんだ”とか、やっぱりちょっと言われるだけと違うものが絶対あると思うんで、その作品展も私たち日本人だけで

やるのでは絶対今後続かないなと思ったんで、企画段階でフィジーの先生たちを積極的に取り入れてフィジーの先生たちが企画運営するそのサポートをしようということで行って来ました。なので本当に去年の10月第1回目が成功したんですけど、このまま2年3年目と続いてほしいなと思っています。この中にはたくさんの方の立場の方がいらっしゃるって、本当にプロジェクトを立ち上げる、私は2代目で行ったんですけど、でそれを3代目の方に預けてくる、ちょうど真ん中の立場だったんですけど、まあ立ち上げの方もいらっしゃるだろうし、もうこのプロジェクトはこの辺にして現地の人に渡そうよという最後のまとめの方も多分いらっしゃると思うんですけど、こうやって代を越えて隊員たちがつながっていけるのも、つながって1つのことをできるのもすごくいいなあと思いました。で本当に自分の任期は1年9ヶ月しかないの中でこういうことが1つずつできていったのが本当によかったなと思います。で先ほどあのインターネットのネット会議が日本の新聞に取り上げられたという話だったと思うんですけど、逆に現地の新聞はすぐに取り上げてくれるので、ちょっとでも何かやるとすぐに日本のJICAボランティアがこういうことやるというのは新聞に載ります。だから現地の新聞に載るのは割と簡単だと思うので、何回か皆さん新聞に載ってください。あの悪いことじゃ駄目ですよ。

1年9ヶ月を振り返って大変だったことは、体操着の着用です。体育の時間に体操着を着る習慣がないので、これ写真は全部体操着を着ている写真ばかりなんですけど、まあ最初体育の時間に体操着を着るってこと、それも逆さまの写真と同じかもしれませんが、それに大変時間がかかりました。彼らは毎日制服を着ているんですけど、女の子は見ての通りワンピース、男の子はちょっとここには写真ないですけど、スルって言って巻きスカートのような物が制服です。そのスルやワンピースで体育をするとどうということになるかというと、まず股を開くことがほぼ恥ずかしい状態になるのでかなり制約があります。それからやっぱり消耗品費の捻出ということで特に図工は何かをやるということお金がかかります。で先ほど紹介したように廃品利用がほとんどだったんですけど、やっぱり紙を使うだとかそういうときのお金はどこが出すのかというところからですね苦労したことかなと思います。あとまあよかったこと、これももう本当にフィジーの人の笑顔に出会えたこと、これはもう何よりも最高です。先ほど先生も言ってたけど、何でこんなに笑顔がすてきなんでしょうっていうくらい本当にたくさんの方の笑顔をもらいました。先生になりたい子どもってすごく多いんですね。多分職業の数が少ないのももちろん原因だと思うんですけども、やっぱ先生とか警察官とかすごい人気の職業で私たちに対してもすごく尊敬の念を持って接してくれました。で今回ちょっとがっかりしたのは日本に帰ってきて卒業式をしたんですけどうちの学校200人ぐらいいるのに先生になりたい人は1人だけでした、まあそんなことはいいんですけど。それからですね、フィジーにいる日本人に出会えたこと。私たちこういう職業をやっているとなかなか違う職種の方に出会うことがなくて、本当にそういういろんな立場の方がこうやって各回に出てきて活動されてそして日本語でいろいろ語り合えたことが日本にいたらできなかったなっていうことの1つです。そして2年になるん

ですけど訓練所で隊員に出会えたこれも私にとってすごく大きな収穫でした。もちろんいろんな職種、先生以外の方と出会えたこともそうだし、帰国後にいろいろ会って話してみるとみんなそれぞれ違う体験しているんですね。自分はたまたま首都だったので首都隊員ってやっぱり協力隊の中ではちょっといい生活できちゃうんですね。でも電気もない水道もない本当にインターネットも使えない所で活動してきた隊員たちに会って、でも明日行けって言われたら行ってすぐ同じ生活できるよって言われちゃうとああそういう体験もいいなと思ってそれをまたまるで自分のことのように子どもに話してたりするんですけど、そういうふうに普段の日常の生活の中では出会えない本当にたくさんの出会いをしてきたんじゃないかなって気がします。

で最後にその後と言うことで、何をやったかという日本社会に押しつぶされそうになりながら半分つぶされてあまり大したことはやってません。当然やらなくちゃいけないなと思っているんですけど、たまたまですね、これを最後の話にしたいんですけど、隊員されている方は分かると思うんですが、6年生の社会で「世界の中の日本」って言って協力隊のことを結構大きく取り扱っているんですね、実は大宮小学校というところに呼んでいただいて6年生にお話をしました。たまたまその学校の先生がいらっしゃっているんでさっきそこで立ち話で聞いたんですけど何か私の話を聞いて開発途上国に行って先生になりたいって言う子がいるんですよって言われたときに、ああよかったなってこの1年を通して初めて思えた瞬間でした。この話し間にあってよかったなって思います。はい、どうもありがとうございました。

Q&A なし

青年海外協力隊  
—フィジーで過ごした1年9ヶ月  
とその後—

16年度1次隊  
小林あゆみ

2007/11/10

# 要請内容と主な活動

- 要請内容：フィジーの初等教育における情操教育の推進
- 活動場所：John Wesley Primary School  
場 所：スバ（首都）  
児童数：約900人  
クラス数：21クラス（1年生～8年生）  
職員数：26人  
特 徴：低所得者の多く住む地域にある、メソジスト系の学校
- 主な活動：
  - \* 図工・体育の年間計画の作成及び見直し
  - \* 図工・体育の教材教具の環境整備
  - \* 図工・体育の指導案の作成
  - \* 図工・体育の授業実践及び紹介
  - \* 現地教員への支援

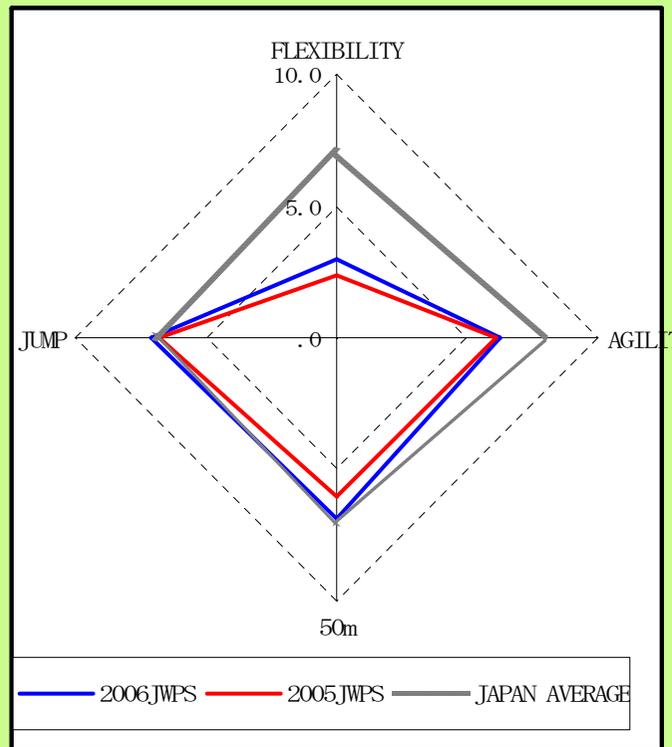
# Physical Education (PE)

- ストレッチ・ラジオ体操
- 基本の運動
- 陸上競技
- 鬼ごっこ
- ボール運動 《バレーボール・ドッチボール等》
- 縄跳び
- 身体測定の実施
- 体カテストの実施 《柔軟性・反復横とび・立ち幅跳び・50m走》



2007/11/10

# 体カテスト結果



立ち幅跳び

50M走

反復横とび

前屈

# Art&Craft



紙細工



ペットボトル人形



フィジー紹介



2007/11/10 ステンドグラス



小麦粘土



新聞紙の帽子

# その他の活動

- 日本紹介
  - ディスプレイ「JAPAN SITE」
  - ラジオ体操、そーらん節
  - 日本語で挨拶



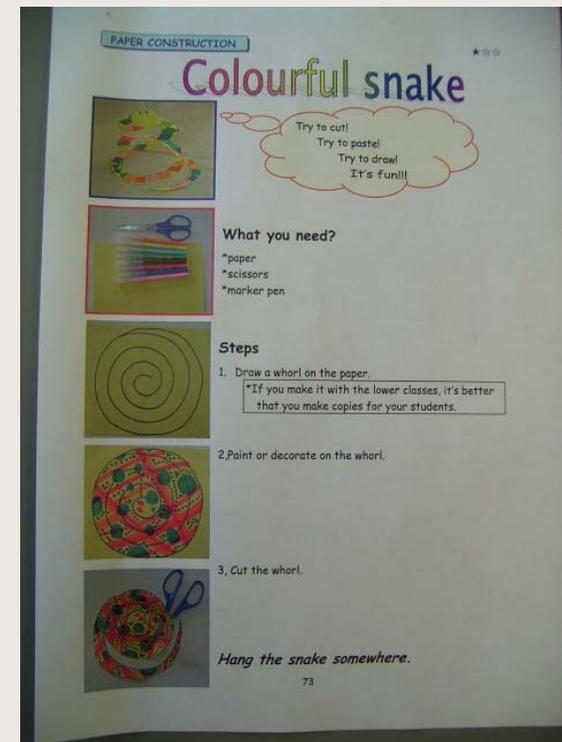
- 作品交流
  - 日本との交流
  - マーシャルとの交流

- コンクールへの出品
  - 神奈川国際児童画コンテスト
  - 環境ポスター、リサイクル工作等

- ワークショップ・アートクラブの開催

- アイディアブックの製作と子どもの作品展の開催

2007/11/10



# 1年9ヶ月を振り返って

- ・大変だったこと
  - ・体操着の着用
  - ・消耗品費の捻出

## ・良かったこと

- ・フィジー人の笑顔に出会えたこと
- ・フィジーにいる日本人に出会えたこと
- ・訓練所で隊員に出会えたこと

## ・その後

